

協定留学近況報告書

記入日	2016年 10月 19日
留学先大学	南ユタ大学
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) <small>※学部等名(日本語):社会学部, (現地言語での名称):Sociology</small> <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留学期間	2016年8月-2016年12月
明治大学での所属	文学部心理社会学科現代社会専攻 / ____研究科____専攻
学年(出発時本学での学年)	学部3年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

これと言って何かをしていたわけではないのですが、僕の場合は、スピーキングはできてリスニングはできなかったもので、毎日ラジオなどで英語を聞く習慣をつけていました。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ)

ビザの種類: J-1	申請先: アメリカ大使館
ビザ取得所要日数: 2週間 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: 2万円ほど
ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?	
ネットでDS-160を記入し、I-20とパスポートとともに提出した	
具体的な申し込み手順を教えてください。	
DS-160を記入し、面接をネットで予約して、お金をクレジットで払い、面接に向かった	
ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか?	
「どこの大学に行きますか?」と日本語で聞かれた。1分程度の面接だった。	
ビザ取得に関して困った点・注意点	
https://www.youtube.com/watch?v=S_mhZjpPnuY アメリカ大使館の公式ビデオです。これを見れば大丈夫です。	
II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)	
その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)	
持っていけない冬服などは早めに船便で送ると経済的です	

III. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子				
利用航空会社	複数航空会社			
航空券手配方法	ネット(surprice) <small>※利用した旅行社・旅行サイト, 格安航空券情報等があれば記入して下さい。</small>			
大学最寄空港名	ラスベガス	現地到着時刻	16時	
キャンパスへの移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の 出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	12時間			

空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等		
大学到着日	8月14日 23時頃	
2. 住居について		
到着後すぐに住居入居できましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 月 日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他()	
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他()	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input checked="" type="checkbox"/> その他(現地の学生)	
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()	
住居の申込み手順	大学から送られてきた書類を提出	
住居は渡航前に, また渡航後すぐに見つかりましたか?トラブルはありましたか?		
すぐに見つかった		
3. 留学先でのオリエンテーションについて		
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった	
日程	5日間ほど	
参加必須ですか?	<input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加	
参加費用は?	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)	
内容と様子は?	授業の注意点やキャンパスツアーなど	
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった	
授業開始日	8月22日から	
IV. その他、渡航してから必要な手続きについて		
1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか?いつ、どこで、方法は?日数、料金は?トラブルは?		
ない		
2. その他現地でした手続きは?(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は?トラブルは?		
無料で予防接種を受けた		
3. 現地で銀行口座を開きましたか?手続方法、必要書類、日数、料金は?トラブルは?		
開設してない		
4. 現地で携帯電話を購入しましたか?手続方法、必要書類、日数、料金は?トラブルは?		
持って行った携帯が4Gに対応していなかったので、その場で携帯を買った。5000円で本体スマホが買えて、月5000円ほど払った		

V. 履修科目と授業について

1.履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(2月1日頃)
 オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(月 日頃)
 オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることは あった なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

志願書類をただ提出した

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

変更はしなかったが、可能。希望通りだった

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00	授業		授業		授業		
9:00		授業					
10:00							
11:00	授業	授業	授業	授業			
12:00							
13:00		授業		授業		勉強	勉強
14:00	授業	授業	授業	授業	授業	勉強	勉強
15:00							
16:00	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強		
17:00	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強		
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							
24:00							

Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

最初は大変なことも多いが慣れてくる。授業自体は明治の授業のほうが何倍も難しい。しかし英語ですべて対処しなくていけないのは骨が折れる。宿題も多いが毎日コツコツしていれば徹夜するようなことはない。エッセイは友達などに推敲してもらうことが必要。英語は上達するし、それ以上に「言葉がわからないなりの対処法」がわかってくるので過度に英語能力を心配する必要はない。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

細かいことを挙げればきりが無いのですが、僕が一番言いたいことは「日本人で固まるな」ということです。

正直に言えばほとんど英語を使わずとも留学はできます。授業中は黙って座り続け、必要最低限の宿題をして、空いた時間や夕食、休日は日本人同士で過ごし、それ以外は部屋でPC やスマホをいじって時間をつぶせばいいのです。誰も最初は大きな目標や理想を掲げて留学生活をスタートさせます。しかし文化の違いや言葉の壁にぶつかり、次第に同じ国の人同士で固まりだしそこから抜け出せなくなるのです。言葉が話せずストレスがたまるからこそ日本語が話せる状況が心地よく、そこが心地よい環境だからこそ抜け出すことが困難なのです。自分と同じレベルの語学力の人と固まるのも同じことです。たとえ英語を話しても、自分と同じレベルの英語を話す中国人や韓国人と話したところで、ストレスは少ないでしょうが英語は上達しません。恥ずかしながら僕も留学する前は「アメリカ人の友達を作って英語を上達させるぞ。日本人とはつるまないぞ」などと思っていたにもかかわらず、いつの間にかどこに行くのにも日本人と行動していました。たしかに日本人グループで毎日ご飯を作ることや、旅行や買い物に行くことはとても楽しかったです。しかし 3 週間ほどたち、自分の英語が全く上達しておらず、日本人以外に挨拶をかわす以上の友達が一人もいないことに気づき愕然としました。毎日日本語を話しては、英語は上達せず、日本人といつも行動してはアメリカ人の友達ができないのも当然です。幸いにも現在はアメリカ人の親友とも呼べる人と過ごすことができ、日本語をしゃべる機会もほとんどなくなりました。しかし日本人に限らずほとんどの(英語が苦手な)留学生は同じ国同士の学生で固まっているのが事実です。残念ながら少なくとも僕は食堂でアメリカ人と一対一で食事をしているアジア人を見たことはほとんどありません。

おそらく留学を経験したことのない人にとって「留学先で日本人と一緒に行動しないこと」がどれだけ困難なことか理解するのは難しいと思います。また「自分よりはるかに英語ができる人と話すこと」がどれだけ大変で時に羞恥を伴うかも想像できないと思います。もしこの文章を読んでもくれる後輩がいるのならば、この言葉をぜひ心に残して置いてほしいです。そして、もし日本に帰ってもまた会いたいと思えるようなアメリカ人の友達が一人でもできて、日本語を使わずに留学生活をやり遂げることができたなら、それは間違いなく留学成功ということができるでしょう。

留学体験談は楽しかったことや華やかな写真で彩られていることがほとんどです。しかし実際は留学とは異国の地で暮らすことであり、苦しく、つらく、孤独な時間が占めることも少なくありません。そんな時に楽な方に流されないでください。初心を忘れないでください。もしなにか質問などあればどんな留学希望者であれ遠慮なく連絡をください。